



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年1月30日

上場会社名 株式会社電算 上場取引所 東
 コード番号 3640 URL <http://www.ndensan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 轟 一太
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 丸山 沢水 TEL 026-224-6666
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	8,550	1.8	154	—	152	—	132	—
29年3月期第3四半期	8,399	△16.9	△648	—	△630	—	△477	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	24.02	23.96
29年3月期第3四半期	△86.77	—

(注) 平成29年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	17,471	8,221	46.9	1,476.42
29年3月期	18,706	8,220	43.8	1,482.83

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 8,186百万円 29年3月期 8,186百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	17.00	—	18.00	35.00
30年3月期	—	17.00	—		
30年3月期(予想)				18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,600	△1.3	890	51.7	902	50.3	621	48.0	112.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、平成29年3月31日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	5,837,200株	29年3月期	5,837,200株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	292,232株	29年3月期	316,500株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	5,531,740株	29年3月期3Q	5,501,671株

(注) 期末自己株式には、「電算従業員持株会専用信託口」が保有する当社株式（30年3月期3Q 400株、29年3月期 24,700株）が含まれております。また、「電算従業員持株会専用信託口」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（30年3月期3Q 13,651株、29年3月期3Q 43,729株）

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢が改善し、緩やかな回復基調が続きました。先行きにつきましては、各種政策の効果もあり、緩やかに回復していくことが期待される一方、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響等から、不透明な状況が続いております。

当社が属する情報サービス業界につきましては、企業の設備投資は緩やかに増加しているものの、ソフトウェア投資は概ね横ばいとなっています。

このような状況のもとで、当社は、総合行政情報システムをはじめとする市区町村向けの各種システムの新規顧客の開拓並びにシステムリプレイス、また、リース業向けのリース業務パッケージ、製造業向けの生産管理システム、流通業向けの販売管理システム、病院情報関連システム等の新規顧客獲得及びリプレイス、合わせてセキュリティ関連サービス及びデータセンターサービスの受注活動に注力いたしました。

当第3四半期累計期間におきましては、公共分野での国民健康保険制度改正対応、基幹系システムのリプレイス及び自治体クラウドの推進により注目され導入が進んでいる共同利用型システムの提供、また、産業分野での生産管理システム、リース業務パッケージシステム及び電子カルテシステム等の医療福祉関連システムの導入や保守等により売上を確保しました。また、営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、研究開発費が前年同期と比較し減少したことで増益となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は8,550百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は154百万円（前年同期は648百万円の営業損失）、経常利益は152百万円（前年同期は630百万円の経常損失）及び四半期純利益は132百万円（前年同期は477百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

<公共分野>

定例業務である住民税・国民健康保険・固定資産税・介護保険等の受託処理及び総合行政情報システム等のシステム保守のほか、国保情報集約システムとの連携に係る国民健康保険システム改修（制度改正対応）、基幹系システムのリプレイスや保守及び戸籍・財務・証明書コンビニ交付等の共同利用型システムの提供等により売上を確保し、前年同期と比べ増収となりました。また、利益につきましては、研究開発費が減少したこと等により、前年同期と比べ増益となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は6,183百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は196百万円（前年同期は501百万円の営業損失）となりました。

<産業分野>

定例業務である口座振替、給与計算等の受託計算処理、インターネット接続サービス、リース業務パッケージ保守及び民間企業向けデータセンターサービス提供のほか、生産管理システムの開発・導入、リース業務パッケージシステムの開発・導入、ビッグデータ共有システムの受注開発及び電子カルテシステムの提供等で売上・利益を確保し、営業損失を計上しているものの前年同期と比べると増収増益となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は2,366百万円（前年同期比3.5%増）、営業損失は42百万円（前年同期は161百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して1,235百万円減少し、17,471百万円となりました。これは主に、現金及び預金が274百万円、仕掛金が229百万円及びソフトウェア仮勘定が1,228百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が3,010百万円減少したことによるものです。

負債は前事業年度末と比較して1,236百万円減少し、9,250百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したものの、買掛金が1,255百万円及び賞与引当金が327百万円減少したことによるものです。

また、純資産は前事業年度末と比較して大きな変動はなく、8,221百万円となりました。ただし内訳では、期末配当及び中間配当により193百万円減少したものの、四半期純利益により132百万円増加したこと及び自己株式の減少により44百万円増加しております。

なお、自己資本比率は、46.9%（前事業年度末43.8%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の業績は、売上、利益共に、概ね順調に推移しておりますので、平成29年5月15日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,230,731	1,505,561
受取手形及び売掛金	5,133,941	2,123,186
商品	200,319	420,705
仕掛品	100,744	330,633
原材料及び貯蔵品	28,592	28,305
その他	1,417,790	1,308,367
貸倒引当金	△178	△166
流動資産合計	8,111,942	5,716,593
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,646,570	4,506,751
土地	1,732,845	1,732,845
その他(純額)	441,094	422,291
有形固定資産合計	6,820,510	6,661,889
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	2,481,400	3,710,199
その他	166,672	286,529
無形固定資産合計	2,648,073	3,996,728
投資その他の資産		
その他	1,137,113	1,106,723
貸倒引当金	△10,753	△10,609
投資その他の資産合計	1,126,360	1,096,113
固定資産合計	10,594,944	11,754,731
資産合計	18,706,886	17,471,324

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,849,452	594,323
短期借入金	3,402,000	3,812,000
1年内返済予定の長期借入金	411,620	336,960
未払法人税等	200,415	-
賞与引当金	666,707	338,769
製品保証引当金	2,713	2,640
その他	972,522	1,281,313
流動負債合計	7,505,430	6,366,007
固定負債		
長期借入金	1,295,060	1,032,480
退職給付引当金	1,229,294	1,281,734
資産除去債務	405	405
その他	456,166	569,682
固定負債合計	2,980,926	2,884,302
負債合計	10,486,356	9,250,309
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,395,482	1,395,482
資本剰余金	1,079,443	1,091,560
利益剰余金	6,390,610	6,330,015
自己株式	△684,390	△639,851
株主資本合計	8,181,145	8,177,206
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,094	9,518
評価・換算差額等合計	5,094	9,518
新株予約権	34,290	34,290
純資産合計	8,220,530	8,221,015
負債純資産合計	18,706,886	17,471,324

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	8,399,109	8,550,524
売上原価	5,291,981	5,869,163
売上総利益	3,107,128	2,681,361
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	848,836	866,968
賞与引当金繰入額	110,842	116,227
研究開発費	1,499,903	183,780
貸倒引当金繰入額	137	△13
その他	1,295,842	1,359,837
販売費及び一般管理費合計	3,755,562	2,526,800
営業利益又は営業損失(△)	△648,433	154,560
営業外収益		
受取利息	202	147
受取配当金	7,586	8,128
助成金収入	18,170	-
為替差益	532	106
受取報奨金	-	3,000
その他	4,364	3,594
営業外収益合計	30,856	14,976
営業外費用		
支払利息	11,557	13,934
新株予約権発行費	643	-
その他	685	3,104
営業外費用合計	12,887	17,038
経常利益又は経常損失(△)	△630,464	152,497
特別利益		
投資有価証券売却益	608	3,053
訴訟関連債務戻入益	-	27,405
特別利益合計	608	30,458
特別損失		
固定資産除却損	12,493	3,566
特別損失合計	12,493	3,566
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△642,348	179,389
法人税、住民税及び事業税	9,890	11,589
法人税等調整額	△174,875	34,921
法人税等合計	△164,985	46,510
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△477,362	132,879

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。